

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-267955

(43)公開日 平成8年(1996)10月15日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

B 42 D 1/00

B 42 C 3/00

識別記号

府内整理番号

F I

B 42 D 1/00

B 42 C 3/00

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全4頁)

(21)出願番号

特願平7-94256

(22)出願日

平成7年(1995)3月29日

(71)出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 茂木 雅男

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印  
刷株式会社内

(72)発明者 藏本 敬

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印  
刷株式会社内

(72)発明者 須藤 亨

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印  
刷株式会社内

(74)代理人 弁理士 秋元 輝雄

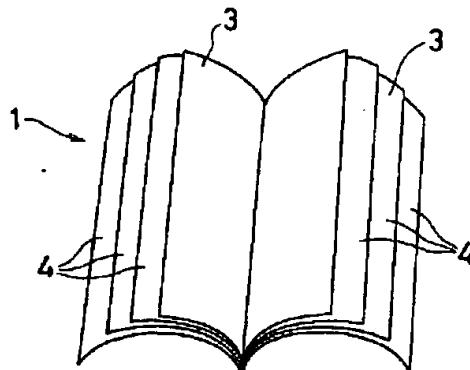
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 書籍

(57)【要約】

【目的】見開いた頁に掲載されている情報とその他の頁に掲載されている情報とが組み合わせができるように入したり、他の紙片や小物などを頁用紙に支持させて、作製工程の大幅な変更と伴うことなく書籍の情報量や表現力を向上させる。

【構成】用紙幅の異なる複数枚の頁用紙を順次重ねて頁用紙中心で中綴じし、頁側辺を階段状に並べた。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】用紙幅の異なる複数枚の貢用紙を順次重ねて貢用紙中心で中綴じし、貢側辺が階段状に並んだ書籍。

【請求項2】重ね合わされた複数の頁それぞれに、切り込みやミシン目よりなる分割線で分離されて捲り上げ可能な同一形状の捲り部が上下位置を揃えて設けられている書籍。

【請求項3】貢用紙の所要位置に差し入れ可能なスリットが設けられている書籍。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は書籍、特に複数枚の貢用紙を用いて中綴じされ見開きできる書籍に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術とその課題】従来、書籍の一つとして比較的頁枚数の少ない、例えばカタログなどのような中綴じされるタイプのものは、予め印刷が施された帶状用紙をその長手方向にスリットして同幅の貢用紙が連続しているウェブに分割し、それぞれの貢用紙が対応するようにして前記ウェブを重ねて綴じ合わせ（糊綴じ）、この後に単位ごとに分断してそれをチョッパー折りして三辺などを断裁して作製されており、頁数の少ない書籍に作製コストが見合ったものとして提供されている。

【0003】しかし、上記タイプの書籍では各頁の形態が同一であり、頁に掲載されている情報のみが表示されるだけあって、表現力や情報量が乏しいという問題がある。そこで、本発明は前記の事情に鑑み、見開いた頁に掲載されている情報とその他の頁に掲載されている情報とが組み合わせができるようにならし、他の紙片や小物などを貢用紙に支持させることができるようにすることを課題とし、作製工程の大幅な変更と伴うことなく書籍の情報量や表現力を向上させることを目的とする。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は上記課題を考慮してなされたもので、用紙幅の異なる複数枚の貢用紙を順次重ねて貢用紙中心で中綴じし、貢側辺が階段状に並んだ書籍を提供して、上記課題を解消するものである。また、もう一つの発明は、重ね合わされた複数の頁それぞれに、切り込みやミシン目よりなる分割線で分離されて捲り上げ可能な同一形状の捲り部が上下位置を揃えて設けられている書籍であって、さらにもう一つの発明は、貢用紙の所要位置に差し入れ可能なスリットが設けられている書籍であり、この書籍を提供して上記課題を解消するものである。

## 【0005】

【実施例】つぎに本発明を図1から図9に示す実施例に基づいて詳細に説明する。図1から図4は書籍1の第一

2

の実施例を示すものである。この第一の実施例における書籍1は、用紙幅を異ならせた複数枚の貢用紙2を各貢用紙2の中央部で糊綴じにて綴じ合わせて折り畳まれているものであって、各頁3の側辺4が階段状に並ぶように設けられており、見開らかれた頁の外側に下位の頁の側辺に掲載された文字、図柄、色彩などが見開き頁と一緒に見ることができるようになる。

【0006】この書籍1を作製するにあたっては、予め印刷された帶状用紙をその長手方向にスリットし、それ用紙幅が異なった複数のウェブに分断する。前記ウェブは貢用紙が連続したものであり、これらの貢用紙を上下に対応させながら、かつ用紙幅中央を一致させてウェブを重ね合わせ、用紙幅中央にて糊綴じにより綴じ合わせる。そして、このウェブが重ね合わされたものを単位毎に分断し、この分断によって貢用紙の重ね合わせが得られ、これをチョッパー折りした後に三方断裁して書籍1を得る。この書籍1にあっては、図1に示した形態の他に、図3に示すように、表裏紙となる貢用紙2から中心の貢用紙2側にかけて各貢用紙2の用紙幅を順次大きくなるようにしたり、図4に示すように中心の貢用紙2側に向けて、用紙幅を順次大きくした後に小さくなるようにしてもよい。

【0007】図5から図7は第2の実施例を示している。この第2の実施例における書籍1にあっては、表裏紙となる貢用紙2以外の貢用紙2それぞれが、綴じ部に直交する方向に亘る切り込みやミシン目などからなる分割線5により上下に分割され、各頁3における上半面を捲り部6としており、前記捲り部6それぞれは分割線5が上下位置で同一の個所に設けられていることにより同一の形状とされている。そして、所定の頁3の下半面側に特定の図柄7などを記載するとともに、各捲り部6それぞれに前記下半面の図柄7と対応させながら互いに変化させた図柄8を設け、各捲り部6を分割線5から分断しそれぞれを捲り上げるようにすることにより、その捲り上げごとに変化する図柄表現が得られるようにしている。

【0008】捲り部6を有して記載された図柄などを変化させるようにした上記構造の書籍1を作製するにあたっては、印刷済みで所要幅の帶状用紙9において上下左右に割り振られた各頁形成部分10（書籍一冊分の頁形成部分10が上下左右に割り振られ、これが複数連続して帶状用紙9を形成している）を横切るようにして帶状用紙9の幅方向に分割線5を入れる。そして、この帶状用紙9の左半面中央線11、或いは右半面中央線12に沿って糊を塗布し、帶状用紙9の中央線13からフォーマー折りして綴じる。つぎにフォーマー折りされた帶状用紙9を書籍一冊分の頁形成部分10毎に分断した後に、前記左半面中央線11、或いは右半面中央線12に沿って糊を塗布して上下頁形成部分10の間14から平行折りして綴じる。そして、平行折りされた帶状用紙9

50

3

を翻綴じ部分（左半面中央線11と右半面中央線12）からチョッパー折りし、これを三方断裁することによって書籍1が得られる。

【0009】図7は捲り部6の形状を変えた実施例である。図示するように書籍1は各頁3に略工型の分割線を入れて対の捲り部6を設けたものであり、この対の捲り部6が各頁3の同一箇所にあって、その捲り上げによって上位の頁3に設けた凹柄などが変化するようにしたものである。この実施例の書籍1の作製に際しても、分割線の形状、位置を変えることにより上記した方法と同様にして得られる。

【0010】図8と図9は第3の実施例を示している。この実施例の書籍1にあっては、表裏紙となる貢用紙2を有するとともに、見開いた貢用紙2の中央に切り込み15と折線16とで囲まれた引き起こし可能なポケット部17が設けられて、小物を支持させることができるとともに、一方の頁3において四方に切り込み18を設けてなるカードホルダー部19があつて、紙片などを支持することができるものとなっており、これら小物や紙片によって頁に記載されている情報などの表現力をより向上させるようにしたものである。この書籍1を作製するには、図9に示すように、予め印刷がなされた帶状用紙9において、表裏紙となる貢用紙部分20をポケット部用切り込み15と折り戻線16及びカードホルダー部用の切り込み18を入れた見開き頁の貢用紙部分21に折り重ねて貼り合わせから書籍一冊分毎に断裁する。そして各貢用紙部分20、21の中央部22からチョッパー折りして書籍1を得ることができ、前記切り込み15と折り戻線16とからなるポケット部17を引き起こすことにより小物を差入れができる、前記切り込み18にカード物を差入れて支持させができるものとなる。

#### 【0011】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の書籍は、用紙幅の異なる複数枚の貢用紙を順次重ねて貢用紙中心で中綴じし、頁側辺が階段状に並んだ書籍であり、また、重ね合わされた複数の頁それぞれに、切り込みやミシン目による分割線で分離されて捲り上げ可能な同一

4

形状の捲り部が上下位置を揃えて設けられている書籍である。このように、見開いた頁に掲載されている情報とその他の頁に掲載されている情報とが組み合わせることができ、頁に掲載されている情報などの表現力やその情報量を向上させることができる。そして、もう一つの発明は、貢用紙の所要位置に差し入れ可能なスリットが設けられている書籍であり、書籍とは別体のカード物や小物を取り付けて、同様に頁に掲載されている情報などの表現力を向上させることができ、貢枚数の少ない書籍であっても有用なものとなるなど、実用性に優れた効果を奏するものである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る書籍の第1の実施例を見開いた状態で示す説明図である。

【図2】第1の実施例における貢用紙の重ね合わせを示す説明図である。

【図3】第1の実施例における貢用紙の他の重ね合わせパターンを断面で示す説明図である。

【図4】同じく第1の実施例における貢用紙の他の重ね合わせパターンを断面で示す説明図である。

【図5】第2の実施例を見開き状態で示す説明図である。

【図6】第2の実施例を得るための帶状用紙を示す説明図である。

【図7】第2の実施例の変形例を示す説明図である。

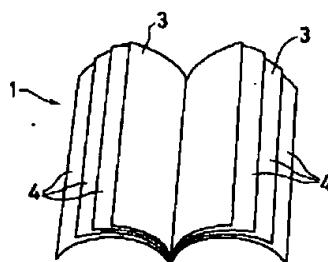
【図8】第3の実施例を示す説明図である。

【図9】第3の実施例を得るための帶状用紙を示す説明図である。

#### 【符号の説明】

- 1…書籍
- 2…貢用紙
- 5…分割線
- 6…捲り部
- 9…帶状用紙
- 15, 18…切り込み
- 16…折り戻線
- 17…ポケット部
- 19…カードホルダー部

【図1】



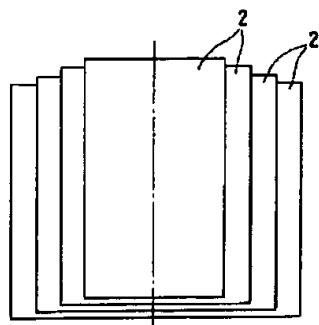
【図3】



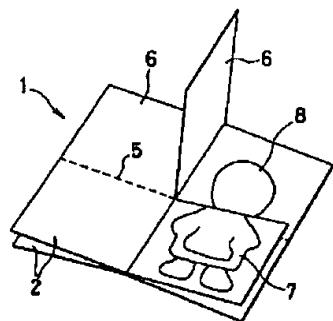
【図4】



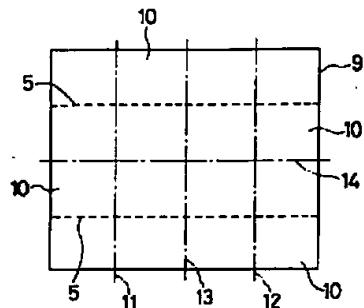
【図2】



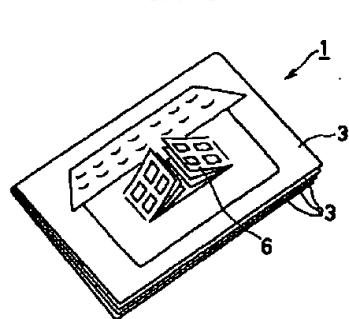
【図5】



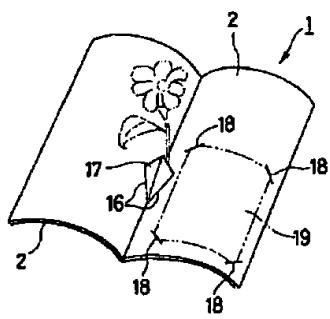
【図6】



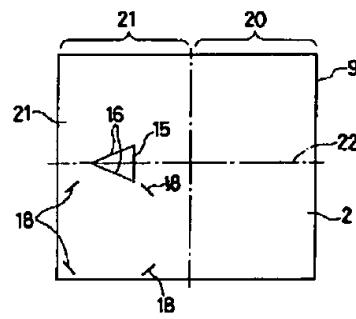
【図7】



【図8】



【図9】



フロントページの続き

(72)発明者 島村 吉和  
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印  
刷株式会社内

(72)発明者 広田 守一  
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印  
刷株式会社内